

2015年度 VLBI 懇談会第2回役員会 議事

日時： 2015年12月18日（金）13：00－14：00（予定）

場所： 電話会議

電話会議：03-6734-7015

会議ID：044902

パスコード：4649

報告

1. 事務局からの報告（会費徴収状況、入退会者状況、収支状況）

議題

1. 2015年度 VLBI 懇談会シンポジウムについて
ー 準備状況（LOC、SOC、学生セッション）
2. 次期（2016-2017）役員選挙について

3. 会則の変更について

（1点目）

会則第6条

（役員）

- （1）総会もしくは、郵便による会員の投票で、
会長、事務局長、並びに若干名の幹事を選ぶ。

電子投票（メール投票）ができない規定となっているため、
可能なように変更する事を提案します。

（修正案）

- （1）総会もしくは、郵便または電子メールなどによる会員の投票で、
会長、事務局長、並びに若干名の幹事を選ぶ。

（2点目）特別会員を新設してはいかがでしょうか？

シニア（現役を引退された方）かつ ML の登録のみ（集録発送なし、選挙権無し）の場合、
会費免除とする。

4. 会費について

5. 2015 決算、2016 予算案

6. その他

事務局報告

1. 名簿管理（敬称略）

- 2015年7月31日時点の会員数148名
 - 正会員136名（うち在外15名）、学生会員12名
- ここまで、第1回役員会にて報告済み

- 2015年度後半（2015/08-12）退会者（11）
 - 向井泰子（AES）、川辺良平（NAOJ）、菊池冬彦（NAOJ）、西川誉（AES）、
 - 水野いづみ（鹿児島大学）、今江理人（フレックタイム）、芥川憲吾（山口大学）
 - 金子明弘（NICT）、野口亘（デジタルリンク）
 - 12/31退会予定：黒田次郎（国土地理院）、町田守人（国土地理院）
- 2015年12月31日時点の会員数137名
 - 正会員126名（うち在外16名）、学生会員11名

- 連絡がつかない人（メール不着、郵便不着）：貴島政親、佐藤真弓

2. 会費納入状況

- 2015/11/03：V-con MLにて会費納入のアナウンスを実施。別途個別に納入状況を連絡。
- 2015/12/18時点での未徴収額：21万円（58名）（3年以上未納者11名）
- メール督促予定（VLBI懇談会シンポジウムでも徴収予定）

3. 収支状況

- 会計報告のとおり。
- 金額未確定のものは、次の通り
 - ① 2015年VLBI懇談会シンポ：アルバイト料：64,000円（予算案では0円計上）
 - ② 2015年VLBI懇談会シンポ：ポスター賞副賞、賞状代：？円（予算案では15,000円計上）
- これらは、2015年度実績に含む予定。

2015 年度 VLBI 懇談会シンポジウム (プログラム案 ; 2015/12/18)

～SKA/ALMA/VGOS 時代の VLBI～

日 時 : 2015 年 12 月 23 日 (学生セッション)、24 日 - 25 日 (本セッション)

会 場 : 東洋大学白山キャンパス (東京都文京区)

プログラム

【12月24日】

- 10:00 面高俊宏 (鹿児島大学) 開会のあいさつ
- 第1セッション 研究成果1ー銀河系力学、星形成 (座長: 〇〇)
- 10 坂井伸行 (国立天文台) VLBI 位置天文観測に準拠した、密度波理論の検証
- 酒井大裕 (東京大学/国立天文台) SgrB2M を用いた銀河系中心方向の水メーザー源の絶対固有運動測定
- 福島登志夫 (国立天文台) Modelling Rotation Curve of M33
- 元木業人 (国立天文台) 大質量原始星周囲の階層的降着構造 ~pc から AU まで~
- 11 杉山孝一郎 (茨城大学) 日立 32-m を用いた大質量星形成領域における周期変動天体サーベイ
- 柴田裕輝 (茨城大学) CORNISH HII 領域を対象とした 6.7GHz メタノールメーザー探査~HII 領域のサイズとメーザー付随関係の解析~
- 林京之介 (山口大学) 大質量星形成領域 G028.83-00.25 に付随する 6.7GHz メタノールメーザーの内部固有運動
- 元木業人 (国立天文台) ALMA/SKA/TMT 時代の星形成研究と VLBI

昼休み

- 第2セッション 研究成果2ー星形成、メタノール・メーザー、強度変動 (座長: 〇〇)
- 13 林剛大 (山口大学) 大質量星形成領域 S255 に付随する 6.7GHz メタノールメーザーのバースト現象についての研究
- 福井紀子 (山口大学) 大質量星形成領域 G33.641-0.228 の超高頻度モニタリング観測
- 中村拓 (山口大学) 高変動を示す 6.7 GHz メタノールメーザーは大質量星からのアウトフローに付随するの
か?
- 佐藤宏樹 (茨城大学) G9.62+0.20 におけるメタノールメーザーの周期的強度変動要因の研究

- 第3セッション 研究成果3ー観測システム開発 (座長: 川口則幸)
- 14 土居明広 (宇宙科学研究所) 気球 VLBI
- 萩原喜昭 (東洋大学) 水沢・入来局 43GHz 帯受信機両偏波化に向けて
- 今井裕 (鹿児島大学) 野辺山 45m 鏡への多波長バンド同時観測システムの導入
- 長谷川豊 (大阪府立大学) GLT 搭載 230GHz CPRx-W の開発状況
- 15 氏原秀樹 (情報通信研究機構) 広帯域フィードの開発
- 関戸衛 (情報通信研究機構) 広帯域 VLBI システムの開発
- 近藤哲朗 (情報通信研究機構) 測地 VLBI での広帯域バンド幅合成 (Wide-band Bandwidth Synthesis on a Geodetic VLBI)
- 近藤哲朗 (情報通信研究機構) USB3.0 インターフェースの市販サンプラーの評価結果--K5/VSSP32 の後継機と成
り得るか?-- (Results of USBADC (AD Converter Equipped with USB3.0) Test
-- Can it be a successor of K5/VSSP32? --)

招待講演 (座長: 関戸衛)

- 16 織笠光明 (情報通信研究機構) 衛星搭載大型アンテナの開発と現状

16:30-17:30 VLBI 懇談会総会

18:00-20:00 懇親会 (・・・)

【12月25日】

第4セッション 研究成果4－恒星、AGN (座長：〇〇)

- | | | |
|----|---|--|
| 10 | 親泊美哉子 (鹿児島大学) | 変光星周期位相と一酸化珪素メーザー分布の相関関係 |
| | 朝木義晴 (国立天文台) | Map Comparison between Quadruple Masers of the Red Supergiant S Per Using VLBI Source/Frequency Phase Transfer Technique |
| | 新沼浩太郎 (山口大学) | Flat spectrum radio quasar DA55 における GeV ガンマ線フレア期の高頻度 VLBI 観測 |
| | 藤田和弘 (山口大学) | JVN 観測による Fermi 未同定 γ 線天体の系統的調査 |
| 11 | 中原聡美 (総研大/JAXA) | 多周波 VLBI による AGN NGC4261 のジェット収束形状探査 |
| | 上原顕太 (東京大、ISAS/JAXA) | Filamentary Structures of the Galactic Center 50km/s Molecular Cloud with ALMA |
| | 小山翔子 (Max Planck Institute for Radio Astronomy) | VLBI+ALMA で探るブレーザーのシンクロトロン自己吸収ピーク |
| | 木村靖伊奈 (山口大学) | 高感度 VLBI 観測による Sgr A*近傍のブラックホールの探査 |

昼休み

第5セッション 研究成果5－測地、大気、宇宙局 (座長：岳藤一宏)

- | | | |
|----|-----------------|-------------------------------------|
| 13 | 若杉貴浩 (国土地理院) | 石岡測地観測局におけるコロケーション測量 |
| | 川口則幸 (国立天文台) | 水蒸気ラインプロファイラーによる Wet Path Length 推定 |
| | 高橋諒 (大阪府立大学) | 大阪府立大学屋上望遠鏡群の開発状況 |
| | 加古琳一 (茨城大学) | 日立局・高萩局を用いた干渉計の立ち上げ |
| 14 | 岳藤一宏 (情報通信研究機構) | クモった VLBI へ |
| | 亀谷収 (国立天文台) | 電波天文周波数小委員会の活動と関わる諸問題 |

第6セッション 将来計画 (座長：〇〇)

- | | | |
|--|--------------|--------------------------------------|
| | 三好真 (国立天文台) | 日本・東アジア主体のサブミリ波 VLBI ネットときゃらばん、その意義。 |
| | 本間希樹 (国立天文台) | 東アジア VLBI と SKA |
| | 川畑亮二 (国土地理院) | AOV における国土地理院の活動について |

議論

優秀発表者表彰
閉会のあいさつ

ポスター講演

山内彩	国立天文台	Far Distance to G7.47+0.06 from Proper Motion Measurement of H ₂ O Masers
今井 裕	鹿児島大学	RadioAstron 観測で検出された宇宙で最も輝度温度の高い水メーザー
今井 裕	鹿児島大学	First VLBI detection of circumstellar SiO v=0 J=1-0 maser emission?
今井 裕	鹿児島大学	低周波数バンド VLBI アストロメトリの実現性
小関研介	エレクトクス工業株式会社	VLBI ダイレクトサンプリングデジタルバックエンド
徂徠和夫	北海道大学	北海道大学苫小牧 11m 電波望遠鏡プロジェクト：15 年間の軌跡
寺家孝明	国立天文台	VERA 測地 VLBI 観測システムの更新と展望
中川亜紀治	鹿児島大学	VERA による長周期変光星の VLBI 位置天文観測
永井 誠	筑波大学	筑波大学機関報告
藤沢健太	山口大学	大学 VLBI 連携の現状と将来計画
藤沢健太	山口大学	VLBI 運営小委員会・VLBI プログラム小委員会報告
藤沢健太	山口大学	山口干渉計
藤沢健太	山口大学	野辺山ミリ波 VLBI 実験報告
石本 正芳	国土地理院	国土地理院機関報告
大橋拓人	茨城大学	BGPS ダストコアを対象とした 6.7GHz メタノールメーザー探査
武田知亜紀	山口大学	6.7GHz メタノールメーザーのスペクトル形状変化が予想される天体 G11.49-1.48, G59.78+00.06 の高頻度モニタリング
金澤翔	山口大学	山口第二アンテナに設置するダウンコンバータの開発
齋藤直斗	山口大学	山口大学 VLBI 用関連器の性能評価
宮本 祐輔	茨城大学	星形成領域 IRAS22198+6336 に付随する 6.7GHz メタノールメーザーの強度変動の研究
足立 弘	茨城大学	茨城 32m 電波望遠鏡受信機切り換え用導波管の開発
沖本 有	茨城大学	遠方銀河腕における H ₂ O メーザーの探査
永瀬桂	茨城大学	G014.23-00.50 に付随する 6.7GHz メタノールメーザーの高頻度モニター観測
安井靖堯	茨城大学	日立 32m 電波望遠鏡のモニター観測によって得られた 6.7GHz メタノールメーザーの強度変動の周期解析
蜂須賀一也	山口大学	国内低周波 VLBI の整備案
米倉覚則	茨城大学	茨城局機関報告
澤田-佐藤聡子	茨城大学	Molecular Absorption Lines as Tracers in the Circumnuclear Region
杉山 孝一郎	茨城大学	EAVN を用いた 6.7GHz メタノールメーザー固有運動サーベイ
木村 公洋	大阪府立大学	機関報告（大阪府立大学）
小山友明	国立天文台	Current status of Mizsawa Correlation center and OCTAVE-DAS system
川合栄治	情報通信研究機構	NICT 鹿島 VLBI グループ 機関報告
河野裕介	国立天文台	SKA デジタル系
村田泰宏	JAXA	JAXA の VLBI 用アンテナの状況

※特に具体的な企画案はなかった。メモ、問題と思われることは以下の通り。

- ・将来計画の話は3件。タイトルとそぐわないか？開発関係の講演はあるが。
- ・海外関係の講演がほとんどない（東アジア、東南アジア、ヨーロッパ、アフリカ、アメリカ）。かなり深刻。
- ・ALMA/SKA関係の講演がないが、よいか。適切な人を招待するか。
- ・その他の研究計画の情報を取り入れるべき。
- ・スペース関係の講演がない。

VLBI 懇談会シンポジウム 準備状況 (LOC)

萩原喜昭 (現地開催地責任者)

米倉覚則 (LOC)

1. 場所
〒112-8606 東京都文京区白山 5-28 20
東洋大学 白山キャンパス
キャンパスマップ：<http://www.toyo.ac.jp/site/access/campus-hakusan.html>
2. セッション会場：1号館1階1102教室 (551名収容)

http://www.toyo.ac.jp/room/index_j/c/hakusan/
3. 建物の出入り：1号館旧白山通り沿いの入口から
4. 会場使用可能時間：12/23-25：09:00-18:00
5. ポスター会場：セッション会場と同じ
ポスターボード：AO が貼れるサイズ、20脚 (両面使用で40枚)
6. 懇親会会場：2号館16階スカイホール。一般4000円、学生3000円
7. コーヒーブレイク用の茶菓子の準備はしません。
8. 無線 LAN 使用可能。
9. プロジェクターとの接続は RGB (D-SUB) か HDMI となる。黒板使用可。
10. 電源コンセントは無し。
11. 食堂、学内コンビニ、売店は休業 (12/23 以降年内休業)。
旧 白山通り沿いに、定食屋、ファミレス、麺類屋、スーパー、コンビニ数件有り。
12. 会場での飲食は可能。
13. アルバイト学生：12/24 (1日目) 4名、12/25 (2日目) 2名
14. 12/24 (1日目)
09：00準備開始。
09：30受け付け開始
10：00-
16：30-17：30総会
18：00-20：00懇親会
15. 12/25 (2日目)
09：00準備開始。
09：30受け付け開始
15：30～ 撤収
16. その他
(ア) 学内での未成年者の飲酒は厳しく制限されています。学部生が懇親会に参加する場合は、指導教官等引率者は未成年者がいるかどうか確認し、いる場合は飲酒させない事を徹底してください。
(イ) 喫煙場所も決まっていますので、本学アルバイトスタッフにお尋ねください。

VIBI 懇談会役員会

学生セッション準備状況報告

学生幹事 酒井 大裕(東京大学 博士課程 1年)

2015/12/18

日時

2015年12月23日(水・祝) 13:00 – 18:00 終了後、懇親会

参加者

合計 17 名

■大学別

山口大学 9名、茨城大学 5名、東京大学 2名、総研大 1名

■学年別

博士課程 3名、修士課程 8名、学部生 6名

■分野別

星形成 9名、銀河系構造 3名、AGN 2名、装置 3名

発表形式

口頭発表のみ (10分+5分)

世話人

学生SOC 藤田和弘 (山口大学B4)

学生 LOC・統括 酒井大裕 (東京大学 D1)

準備進行状況

12/1 サーキュラー回覧 → 終了

12/10 レジストレーション締切 → 終了

12/17 プログラム回覧 → 参加者宛には回覧済. V懇メーリスにも回覧予定

12/23 当日

次期（2016-2017）役員選挙

澤田-佐藤 聡子、杉山孝一郎（選挙管理委員）

米倉覚則（事務局）

1. 11月18日発送（在外の方はメール投票）
12月11日投票締め切り
12月14日開票（選挙管理委員：澤田-佐藤聡子、杉山孝一郎）

2. 結果

有効投票数＝58票

会長（自由投票）

有効投票数＝58票

川口則幸 14

小林秀行 14

藤沢健太 11

本間希樹 5

半田利弘 2

小川英夫、面高俊宏、徂徠和夫、中井直正、萩原喜昭、平林久、米倉覚則（各1票）

白票 5

事務局長（信任投票）

	有効投票数	信任	不信任	無効
中井 直正（筑波大学）	58	54	1	3

幹事（機関代表）（信任投票）

	有効投票数	信任	不信任	無効
河野 裕介（国立天文台）	58	55	0	3
関戸 衛（情報通信研究機構）	58	55	0	3
川畑 亮二（国土地理院）	58	55	0	3
村田 泰宏（JAXA/宇宙科学研究本部）	58	55	0	3
青山 雄一（国立極地研究所）	58	55	0	3
高羽 浩（岐阜大学）	58	55	0	3
藤沢 健太（山口大学）	58	55	1	2
米倉 覚則（茨城大学）	58	55	0	3
中井 直正（筑波大学）	58	55	0	3
中川 亜紀治（鹿児島大学）	58	55	0	3
木村 公洋（大阪府立大学）	58	55	0	3
酒井 大裕（学生幹事）	58	55	0	3

全国幹事（自由投票）

総投票数： 232（=58×4名連記）

無効： 6

有効投票数：226

白票： 39

本間希樹：17

萩原喜昭：15

川口則幸：10

三好真： 8

今井裕、新沼浩太郎：各7

面高俊宏、小林秀行、齋藤正雄、徂徠和夫、岳藤一宏、土居明広：各6

小川英夫、倉山智春、柴田克典、竹内央：各5

寺家孝明、須藤広志、蜂須賀一也、半田利弘：各4

梅本智文、小山友明、久野成夫、澤田-佐藤聡子、永山匠、福崎順洋、元木業人：各3

亀谷収、坂井伸之、笹尾哲夫、杉山孝一郎、永井洋、廣田朋也：各2

青木貴弘、朝木義晴、市川隆一、奥村幸子、小関研介、金子紘之、小山泰弘、近藤哲朗、下井倉ともみ、
白鳥裕、高島和宏、中西裕之、花田英夫、町田守人、松本欣也、松本尚子、三澤浩昭、宮地竹史：各1

3. 発送作業のため、アルバイトを雇用した（5人×2時間×時給900円=9000円）

以上

2015 年度会計報告、2016 年度予算案

会計期間 2014年10月28日～2015年12月24日

収入の部

	2016 年度 予算	2015 年度予 算	2015 年度実 績	2014 年度実 績	備考
収入合計	806,408	952,694	837,806	855,351	
前年度繰 越金	575,408	691,694	691,694	531,563	
会費収入	231,000	261,000	146,000	305,000	* a
利息	0	0	112	113	
雑収入	0	0	0	18,675	* 1

支出の部

	2016 年度 予算	2015 年度予 算	2015 年度実 績	2014 年度実 績	備考
支出合計	806,408	952,694	837,806	855,351	
次年度繰越 金	401,408	567,694	575,408	691,694	
前年度シン ポ集録発 行・発送	200,000	200,000	193,526	163,657	* 2
前年度シン ポ見学バス 代金	0	40,000	36,666	0	
前年度シン ポ経費	65,000	15,000	2,484	0	* 3
郵送費	20,000	20,000	29,722	0	* 4
役員会旅費 補助	100,000	100,000	0	0	* 5
当該年度シ ンポ開催費	10,000	70,000	0	0	* 6
雑費	10,000	10,000	0	0	

2015 年度会計報告、2016 年度予算案

会計期間 2014年10月28日～2015年12月24日

- * 1 : 2013 年度シンポジウム残金
- * 2 : 2015 年予算／実績は 2014 年度シンポジウム集録 (@国土地理院)
2014 年度実績は 2013 年度シンポジウム集録 (@筑波大学)
- * 3 : 賞状代、資料印刷代、アルバイト料
- * 4 : 役員選挙投票用紙の郵送費、アルバイト料
- * 5 : 学生幹事が東京在住のため、ゼロ
- * 6 : 2014 年度シンポジウム (@国土地理院) 経費 (チャーターバス費用) は、
シンポジウム終了後の清算のため、ゼロ
- * a : 正会員 126 名 (うち在外 16 名)、学生会員 11 名
 - 110 名×2,000 円 + 11 名×1,000 円= 231,000 円